

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エコタウン環境課
 担当名: 創エネルギー推進担当
 内線: 3004 (単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|---------------------|------|--|-----|------|--------------------|--------------------|-------------|
| B11 | 水素社会を身近に感じる社会づくり事業費 | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | 低炭素分散型エネルギー社会構築事業費 | |
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令 | エネルギー政策基本法、地球温暖化対策推進条例 | | | 宣言項目 | 10 新たなエネルギー社会の構築 | |
| | | | | | 分野施策 | 051142 環境に優しい社会づくり | | |
| 1 事業概要 | | | 5 事業説明 | | | | | |
| 水素社会の到来を誰もが実感できるよう、燃料電池等の導入や普及啓発活動を推進する。 設備運用回数が見込みを下回ったことに伴う減 (1) 車載式燃料電池 △6,111千円 補助申請件数が見込みを下回ったことに伴う減 (4) 分散型エネルギー利活用設備整備費補助 △50,060千円 執行方法の見直しに伴う消耗品費等の減 (5) 水素エネルギー普及啓発費 △157千円 (6) 普及推進協議会運営費 △10千円 | | | (1) 事業内容 ア 車載式燃料電池 燃料電池を搭載したトラックのスポットリース 14,195千円→8,084千円 イ 分散エネルギー設備整備費補助 純水素型燃料電池やガス改質型燃料電池の設置者への補助 50,116千円→ 56千円 ウ 水素エネルギー普及啓発 国際展への出展、マッチングセミナーの開催、資料作成 4,424千円→4,267千円 エ 普及推進協議会 委員謝金、会場使用料等 107千円→ 97千円 (2) 事業計画 平成26年度 水素エネルギー普及推進協議会の創設 平成28年度 サプライチェーン構築可能性調査、下水汚泥利活用の実証、燃料電池補助制度創設 平成29年度 燃料電池補助制度の拡充、車載式燃料電池活用、ラグビー場発電設備設計 平成31～32年度 水素エネルギーの利活用 (3) 事業効果 ・先進技術を具現化し、水素社会の到来を広く発信 ・燃料電池の整備によるCO2排出量の削減 (4) 補正予算の概要 ア 車載式燃料電池の運用回数が見込みを下回ったことに伴うリース料等の減額 △6,111千円 イ 分散型エネルギー利活用設備整備費補助の申請件数が見込みを下回ったことに伴う補助金等の減額 △50,060千円 ウ 普及啓発物資の作成を見直したことに伴う消耗品費等の減額 △167千円 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 燃料電池補助は(国1/3等・県1/6)事業者1/2 | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財源内訳 | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △56,338 | | | | | | △56,338 | 12,504 |
| 現計額 | 68,842 | | | | | | 68,842 | |